

比較内分泌学 (2単位)

担当者氏名 和田 勝

◆学習・教育目標

比較内分泌学 (comparative endocrinology) は、動物の内分泌器官、そこから分泌されるホルモン、ホルモン受容体、それらの遺伝子を、適応・進化の観点から各種動物で比較して、進化の道筋、適応戦略を明らかにする学問である。ドブジアンスキー (Theodosius Dobzhansky) は「Nothing in Biology Makes Sense Except in the Light of Evolution」というタイトルのエッセーを書いたが、まさに生物学では、何事も進化の考え方なしには正しく理解できない。この科目では、特に鳥類・哺乳類の繁殖を中心に、適応戦略とホルモンについて基礎的なことから応用的な面まで講義し、このような視点で、内分泌現象を理解できるようになるのが、主な目標である。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

繁殖 _____ 鳥類 _____ 哺乳類 _____ 進化 _____
適応 _____ フィールド _____ _____

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	動物の生殖	動物の生殖についての導入	特になし
2	生殖腺の発生	発生に関する基本的な事柄	
3	脳下垂体・視床下部	生殖に関係する内分泌器官に関して	
4	情報交換方式	ホルモンによる情報交換方式	
5	制御方式	どのような制御をしているか	
6	季節繁殖	季節繁殖に関する基本的な事柄	
7	繁殖戦略	動物の繁殖戦略	
8	フィールドでの研究	上の基礎的な理解してフィールドでの研究の実践例	
	"		
15			

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

プリントを配布する

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

Vertebrate Endocrinology 4th ed.、David O. Norris、Academic Press (2006)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

主としてレポートによる

◆その他受講上の注意事項